

学生シェアハウスを核としたまちの再構築事業「fil プロジェクト」

富山県富山市／令和4年竣工

まちづくり会社が遊休化した業務ビルと空き地を取得し、それらの一体的なリノベーションを図り、学生シェアハウス、地域に開かれた食堂、コインランドリー、広場の整備・運営を行うことで、中心市街地と関わりの薄い郊外の大学生の街なか居住を促し、地域と関係性を作ることによって、中心市街地の賑わい再生を目指すプロジェクトです。

施設は、シェアハウス棟（32部屋）、ランドリー棟、まちなか庭園等で構成されます。シェアハウス棟は、かつて証券会社として使われていた空きビルを全面的にリノベーションしたもので、ランドリー棟は、駐車場として使われていた敷地に新築したものです。プロジェクト名の「fil」は「紡ぐ」という意味で、まちづくり会社が富山大学都市デザイン学部と包括連携協定を締結して進めつつ、地元企業による学生の活動や生活をサポートする組織も形成し、居住した学生に課される地域活動や公共貢献の仕組みなど、中心市街地における交流や連携を総合的にデザインする（紡ぐ）ものです。

学生シェアハウスを街なかに整備し、学生、商店街（店主）、企業をつなぐ場（食堂）をつくり、これらをつなぐ企画（協働イベント）を実施することで、人を育て、地域の関係人口を増やし、新たなネットワークの形成を促しながら、シビックプライドを醸成しようとするものです。

事業概要

所在地	富山市荒町5番5号
土地面積	約 447 m ²
事業主体	株式会社富山市民プラザ
管理運営主体	株式会社富山市民プラザ
主要施設	①シェアハウス棟 学生シェアハウス（2～5階）、カフェ食堂・交流スペース（1階） ②ランドリー棟 コインランドリー・庭園（1階）、管理事務所（2階）
事業スキーム	地域商業機能複合化推進事業（経産省）

取組のポイント

- まちづくり会社が「学」と「民」の交流・連携を促すハード・ソフトのまちづくりを一体的に進め、まちの「人」と「コト」を「紡ぐ」いで中心市街地の賑わい再構築を先導。
- 県外出身の学生が富山との関わりが希薄なまま富山を離れてしまうという課題を踏まえた学生シェアハウスの用途に着眼し、中心市街地の低未利用地（施設）を入居学生に公共交通利用を促す仕組み等とセットで有効活用。
- 県外出身大学生等にまちに住んでもらい、地域の企業のサポート（路面電車、シェアサイクル、スポーツクラブの割引等）により、継続的な関係人口の増加に貢献。

